

こんぺいとう通信



教室のみなさん、こんにちは (ノ^ノ)
 3月はさまざまなスポーツイベントで盛り上がりま
 したね。ワールドベースボールクラシックでは惜し
 くも準決勝でアメリカに敗れてしまいました。残念
 でしたっ！ サッカーのワールドカップ予選は UAE
 そしてタイに2連勝で、本大会出場にまた一步近づ
 きました。そして大相撲。新横綱・稀勢の里関の奇
 跡と言っている逆転優勝には胸が熱くなりました。
 そしてもうすぐプロ野球が開幕。スポーツ好きには
 楽しい季節になりますね。

野球やサッカーなどのスポーツイベントを除けば、
 私は普段ほとんどテレビを見ることはありません。
 見たいと思う番組があまりないというのがあります
 が、それに加えてテレビって、一度見始めてしま
 うと、それほど見たくなくてもダラダラと見続けてし
 まうので、それもテレビを見ない理由の一つになっ
 ています。見たい映画やドラマがある場合は、以前
 ご紹介したフールー（Hulu）のような月額定額制の
 ビデオ配信サービスを利用しています。

さてそんな私がここ最近ハマっているのが「パー
 ソン・オブ・インタレスト」というアメリカのドラマ。
 テロの危険性を事前に察知するため、政府によって
 極秘開発された犯罪余地システム、通称“マシン”
 は、街中に張り巡らされた監視カメラや携帯電話、
 GPS などから情報を得、テロだけではなく日常的に
 起こる凶悪犯罪も予知します。政府にとっては“無
 用”とされるそれらの情報を元に、一般市民が犯罪
 に巻き込まれるのを未然に防ぐため、開発者である
 天才ハッカーと元 CIA の相棒が活躍するというのが
 ざっくりとしたストーリーです。

まだ起きてもない凶悪事件を事前に察知するなん
 て荒唐無稽のような気もしますが、これから先テク
 ノロジーがますます発達していけば、全くあり得な
 い話ではないように思えます。未来の予知はともか
 くも、世の中では今でも「えっ」と驚くような事件

がたくさん起きています。例えば皆さんのノートパ
 ソコンやスマホ、タブレットに付いているウェブカ
 メラ。ネットワークからこのカメラにアクセスして
 他人の部屋を盗撮して捕まった犯人がいましたね。
 スマートフォンにウイルスを忍ばせ、通話やメール
 の内容を盗んだり、居場所を監視されたりというの
 も悪くて頭のいいやつにかかれればワケもないこと
 のようですよ。センサーには出来ませんがね(ノ)

街中に設置されている防犯用のカメラ。これにつ
 いて「プライバシーが侵害される」などの理由で快
 く思わない方もいらっしゃるでしょう。確かに「顔
 認識ソフト」などと組み合わせることにより特定の
 ターゲット（政治家とか）を狙ってスキャンダルを暴
 いたり（時にねつ造したり）することも可能だそう
 です。得られた情報が悪用される可能性を考えれば、
 カメラの設置やそこで得られたデータの扱いに慎重
 さが求められるのは当然でしょう。

また先日は、警察による令状のない GPS を利用した
 捜査を違法とする最高裁判断が示されました。これ
 もその判決理由を読めば、確かにその通りなのかも
 という気はします。何かで疑われて、知らないうち
 に発信器を付けられ監視されていたらと思うと、清
 廉潔白でないセンサーはちょっとイヤかな(ノ；
 その一方で、不幸な事件に巻き込まれた方やそのご
 家族が傷ついていることを思えば、それを防ぐため
 の手立てとしてであれば、使える技術は最大限に活
 用したいと思うのもまた自然な考えだと思います。

技術が発達すれば、それに伴い私たちの生活は確実
 に便利になります。それまで出来ないこととあきらめて
 いたことが出来るようになります。と同時にそれ
 までは想定していなかった負の事態が生じることも
 また事実です。IT にせよ原子力技術にせよ遺伝子操
 作にせよ、結局のところ、私たちが手にした新たな
 力は、それをどのように用いるか、あるいは用いな
 いかという私たち人間の叡智や良識が試されるのだ
 という平凡な結論になっちゃいそうですね。